

厚生労働大臣 殿

山梨大学医学部附属病院長  
星 和

特定機能病院山梨大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	71.0人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護婦及び准看護婦

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	194人	70.0人	264.0人	看護補助者	38人	診療エックス線技師	人
歯科医師	4人	3.2人	7.2人	理学療法士	5人	臨床検査技師	31人
薬剤師	23人	4人	27.0人	作業療法士	人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	2人	その他	3人
助産師	12人	1.7人	13.7人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	343人	24.9人	367.9人	臨床工学技士	6人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	人	人	人	栄養士	1人	その他の技術員	7人
歯科衛生士	1人	人	1.0人	歯科技工士	1人	事務職員	61人
管理栄養士	4人	人	4.0人	診療放射線技師	22人	その他の職員	45人

- (注) 1. 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2. 栄養士の員数には、管理栄養士の員数に含めないで記入すること。  
 3. 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を少数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	501.0人	4.6人	505.6人
1日当たり平均外来患者数	1,087.1人	33.9人	1,121.0人
1日当たり平均調剤数	外来202.15剤	入院567.32剤	計769.47剤

- (注) 1. 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2. 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3. 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日で除した数を記入すること。  
 4. 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	22人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	18人
・多発性硬化症	33人	・ウェゲナー肉芽腫症	1人
・重症筋無力症	47人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	31人
・全身性エリトマトーデス	98人	・多系統萎縮症	10人
・スモン	2人	・表皮水泡症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	13人	・膿疱性乾癬	1人
・サルコイドーシス	15人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・筋萎縮性側索硬化症	21人	・原発性胆汁性肝硬変	15人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	40人	・重症急性膵炎	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	31人	・特発性大腿骨頭壊死症	17人
・結節性動脈周囲炎	8人	・混合性結合組織病	9人
・潰瘍性大腸炎	44人	・原発性免疫不全症候群	1人
・大動脈炎症候群	8人	・特発性間質性肺炎	0人
・ビュルガー病	14人	・網膜色素変性症	33人
・天疱瘡	14人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	30人	・原発性肺高血圧症	3人
・クローン病	15人	・神経繊維腫症	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	0人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	57人	・突発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	2人	・ライソゾーム病(ファブリー(Fabry)病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	13人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	0人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	病理診断部門との開催状況 ※毎週開催 乳腺・甲状腺症例検討会 婦人科症例検討会 呼吸器症例検討会 皮膚科症例検討会	※毎月開催 第一外科症例検討会 泌尿器科使症例検討会 腎生検症例検討会(不定期) 骨軟部腫瘍症例検討会(不定期)
剖検の状況	剖検症例数 20例	剖検率 8.5%

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨、頭蓋骨の観血的移動術	有・ <del>無</del>	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <del>無</del>	人
・溶血性貧血症の病因解析ならびに遺伝子解析診断法	有・ <del>無</del>	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法	有・ <del>無</del>	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <del>無</del>	人
・人工中耳	有・ <del>無</del>	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	<del>有</del> ・無	0人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <del>無</del>	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <del>無</del>	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <del>無</del>	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <del>無</del>	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <del>無</del>	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <del>無</del>	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <del>無</del>	人
・肺気腫のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <del>無</del>	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <del>無</del>	人
・筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	有・ <del>無</del>	人
・SDI法による抗癌剤感受性試験	有・ <del>無</del>	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <del>無</del>	人
・栄養障害型表皮水疱瘡のDNA診断	有・ <del>無</del>	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <del>無</del>	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <del>無</del>	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <del>無</del>	人
・抗癌剤感受性試験	有・ <del>無</del>	人
・子宮頸部前癌病変のHPV-DNA診断	有・ <del>無</del>	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <del>無</del>	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <del>無</del>	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <del>無</del>	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <del>無</del>	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	<del>有</del> ・無	12人
・成長障害のDNA診断	有・ <del>無</del>	人
・生体部分肺移植術	有・ <del>無</del>	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈的肝内開脈大循環短絡術	有・ <del>無</del>	人
・乳房漏存療法における鏡視下腋抗郭清術	有・ <del>無</del>	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <del>無</del>	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <del>無</del>	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <del>無</del>	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <del>無</del>	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <del>無</del>	人
・悪性黒色腫、乳癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <del>無</del>	人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・ <del>無</del>	人
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <del>無</del>	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <del>無</del>	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・(無)	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・(無)	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・(無)	人
・カフェイン併用化学療法	有・(無)	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非浸襲診断	有・(無)	人
・特発性男性不妊症・性腺機能不全症のDNA診断	有・(無)	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・(無)	人
・遺伝性コプロポルフィリン症のDNA診断	有・(無)	人
・固形腫瘍の(神経芽腫)のRNA診断	有・(無)	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・(無)	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・(無)	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・(無)	人
・膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術(膝体尾部切除または核出術)	有・(無)	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・(無)	人
・悪性脳腫瘍に対する抗癌剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・(無)	人
・高発癌性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・(無)	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・(無)	人
・Q熱診断における血清抗体価測定および病原体遺伝子診断	有・(無)	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・(無)	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・(無)	人
・抗癌剤感受性試験(CD-DST法)	有・(無)	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・(無)	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・(無)	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・(無)	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・(無)	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・(無)	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・(無)	人
・樹状細胞と腫瘍抗原ペプチドを用いた癌ワクチン療法	有・(無)	人
・内視鏡下甲状腺癌手術	有・(無)	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・(無)	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・(無)	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・(無)	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・(無)	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するYagLaserによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・(無)	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・(無)	人
・活性化血小板の検出	有・(無)	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・(無)	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・(無)	人
・隆起性皮膚繊維肉腫の遺伝子診断	有・(無)	人
・末梢血管細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・(無)	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・(無)	人
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・(無)	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・(無)	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘術	有・(無)	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・(無)	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	(有)・(無)	3人
・自己腫瘍(組織)及び樹脂細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・(無)	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <del>無</del>	人
・顎顔面補綴	<del>有</del> ・無	0人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <del>無</del>	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <del>無</del>	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <del>無</del>	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <del>無</del>	人
・X線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <del>無</del>	人
・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <del>無</del>	人
・顎関節鏡下レーザー手術併用による円板縫合固定術	<del>有</del> ・無	0人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <del>無</del>	人
・耳鼻咽喉領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <del>無</del>	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <del>無</del>	人
・自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <del>無</del>	人
・画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <del>無</del>	人
・凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <del>無</del>	人
・強度変調放射線治療	有・ <del>無</del>	人
・胎児心超音波検査	有・ <del>無</del>	人
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <del>無</del>	人
・画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <del>無</del>	人
・インプラント義歯	有・ <del>無</del>	人
・顎顔面補綴	<del>有</del> ・無	0人
・人工中耳	有・ <del>無</del>	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <del>無</del>	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <del>無</del>	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <del>無</del>	人
・生体部分肺移植術	有・ <del>無</del>	人
・活性化血小板の検出	有・ <del>無</del>	人
・抹消血管細胞による血管再生治療	有・ <del>無</del>	人
・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <del>無</del>	人
・先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <del>無</del>	人
・超音波骨折治療法	有・ <del>無</del>	人
・眼底三次元画像解析	有・ <del>無</del>	人
・CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <del>無</del>	人
・非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <del>無</del>	人
・X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <del>無</del>	人
・定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <del>無</del>	人

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。  
2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。  
3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元
細胞障害因子の移植片対白血病効果における意義と臨床応用に向けた研究	犬飼 岳史	小児科学	1,600	補委 文部科学省
難治性小児白血病におけるアポトーシス耐性機序の解明と克服を目指した治療法の確立	中澤 眞平	小児科学	1,900	補委 日本学術振興会
C型肝炎ウイルスレプリコン系によるHCV増殖機構の解析とその制御	榎本 信幸	内科学1	5,000	補委 日本学術振興会
ウイルス感染防御でのマスト細胞の役割の解明及びマスト細胞機能制御による免疫療法	島田 眞路	皮膚科学	7,400	補委 日本学術振興会
がん幹細胞に発現する転写因子を標的とした新規分子標的療法の開発	小松 則夫	血液内科	5,600	補委 日本学術振興会
ゲフィニチブ(インプレツ)と放射線照射の併用効果:抗腫瘍作用と放射線肺炎の検討	大西 洋	放射線医学	500	補委 日本学術振興会
ヒト癌細胞核の染色体高次構造の異常とRNA転写制御に与える影響	村田 晋一	人体病理学	500	補委 日本学術振興会
躁うつ病の連鎖領域および位置的候補遺伝子の解析	塩江 邦彦	精神神経医学・臨床倫理学	600	補委 日本学術振興会
血管新生多様性と選択性の解析に基づく癌転移制御の可能性に関する研究	板倉 淳	外科学1	700	補委 日本学術振興会
ヒト子宮内膜癌における性ステロイドホルモン受容体アイソフォームの発現の解析	平田 修司	産婦人科学	1,000	補委 日本学術振興会
動脈硬化形成における血管内皮細胞のCD36の発現意義の解明	岩佐 敏	病理部	600	補委 日本学術振興会
C型肝炎ウイルス複製複合体の細胞内局在によるインターフェロン耐性機構の解明	前川 伸哉	内科学1	1,700	補委 日本学術振興会
膵管細胞を膵β細胞へ分化誘導する遺伝子の同定と生体反応	會田 薫	内科学3	1,600	補委 日本学術振興会
HIF-1αを分子標的とした新たな白血病治療法の開発	桐戸 敬太	血液内科	1,300	補委 日本学術振興会
尋常性乾癬、アトピー性皮膚炎患者CD4、CD25制御性T細胞の機能解析	相山 秀昭	皮膚科学	1,100	補委 日本学術振興会
胃癌患者における単球細胞内サイトカインの検討と単球のHeterogeneity	須貝 英光	外科学1	1,300	補委 日本学術振興会
虚血性神経損傷におけるグリシンの役割について	木内 博之	脳神経外科学	1,300	補委 日本学術振興会
麻酔前保温および老化が体温(中枢温・末梢温)に及ぼす影響に関する研究	松川 隆	手術部	2,100	補委 日本学術振興会
ヒト前立腺癌におけるProstaglandin分解代謝系遺伝子の発現異常の役割	野村 照久	泌尿器科学	1,700	補委 日本学術振興会
培養細胞と実験動物個体を用いた包括的かつ迅速な網膜神経節細胞治療の研究と臨床応用	柏木 賢治	眼科学	1,500	補委 日本学術振興会
重症呼吸不全に対する液体換気の有効性と安全性に関する基礎的検討	松田 兼一	救急部	900	補委 日本学術振興会
データ・マイニングによるC型慢性肝炎・肝細胞癌の病態解明とその臨床応用	朝比奈 靖浩	内科学1	1,800	補委 日本学術振興会
B型肝炎ウイルス・ポリメラーゼ遺伝子解析による慢性肝炎の病態解明	黒崎 雅之	内科学1	1,800	補委 日本学術振興会
血小板上受容体型チロシンフォスファターゼRPTPベータ:ピロリ菌関連疾患との関係	尾崎 由基男	臨床検査医学	2,200	補委 日本学術振興会
血小板凝集を惹起する新しい受容体CLEC-2:抗血栓薬新規ターゲット蛋白の可能性	井上 克枝	臨床検査医学	2,800	補委 日本学術振興会
11q23転座型ALLにおけるFLT3/FLT3リガンドシステムの解析	杉田 完爾	小児科学	1,900	補委 日本学術振興会
担癌マウスにおける免疫抑制状態の解析とその回避による腫瘍ワクチン増強効果の検討	柴垣 直孝	皮膚科学	2,200	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元
重症うつ病の電気痙攣治療による脳機能画像変化と認知機能に関する検討	小林 薫	精神神経医学・臨床倫理学	1,200	③補委 日本学術振興会
胃癌、食管癌における術後アジュバントとしての癌ワクチン療法の開発	河野 浩二	外科学1	1,700	③補委 日本学術振興会
神経再生における脂肪酸結合蛋白の役割ー各種ノックアウトマウスを用いての研究ー	内田 幹人	脳神経外科学	1,700	③補委 日本学術振興会
腰痛解明への分子細胞学的アプローチと新しい治療法の確立	波呂 浩孝	整形外科学	2,300	③補委 日本学術振興会
虚血後の脳血管のセボフルラン、プロポフォールに対する反応とそのメカニズム	石山 忠彦	麻酔科学	2,300	③補委 日本学術振興会
プロスタグランジンチャネルトランスポーターと細胞内外受容体を介する腫瘍増殖抑制機構の解明	野澤 宗裕	泌尿器科学	2,600	③補委 日本学術振興会
自己分泌型遊走因子による上皮間葉移行とがん細胞悪性化の機構解明	新中 康史	歯科口腔外科	1,800	③補委 日本学術振興会
ホメオボックスHOXA9によるHOXB4の機能制御と白血病発症	小松 則夫	血液内科	1,600	③補委 文部科学省
レーザー加工による超極細繊維を用いた新しい医療材料の開発	進藤 俊哉	外科学2	1,000	③補委 文部科学省
脂質ラフト制御によるC型肝炎治療戦略の開発	榎本 信幸	内科学1	1,700	③補委 文部科学省
トランスジェニックマウスと培養網膜神経節細胞を用いた視神経障害機序研究	間瀬 文彦	眼科学	900	③補委 文部科学省
甲状腺乳頭癌における新しい発癌メカニズム	中澤 匡男	人体病理学	1,400	③補委 文部科学省
臨床で認められた遺伝子変異を応用したHCV増殖抑制機構の解明	板倉 潤	内科学1	1,700	③補委 文部科学省
肺癌に対するVEGF系を標的とした新たな血管新生抑制療法の開発	深澤 光晴	内科学1	1,700	③補委 文部科学省
Dkk4による大腸癌Wntシグナルの分子制御機構の解明	山口 達也	内科学1	1,500	③補委 文部科学省
小児急性リンパ性白血病における感染を契機にした自然退縮の機序の解明	赤羽 弘資	小児科学	500	③補委 文部科学省
皮膚悪性腫瘍に対する抗血管新生療法の新規標的としての周皮細胞の検討	古橋 正男	皮膚科学	1,500	③補委 文部科学省
新しい検出法を用いたダニアレルギー性鼻炎患者末梢血の抗原特異的T細胞の研究	松岡 伴和	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,600	③補委 文部科学省
C型肝炎ウイルスによる自然免疫の攪乱機構の解明	北村 敬利	内科学1	1,800	③補委 文部科学省
顆粒球分化の調節機構の解明:未分化性を標的とした新たな抗腫瘍療法を目指して	中村 誠	小児科学	1,000	③補委 文部科学省
悪性黒色腫の転移メカニズムの解明	原田 和俊	皮膚科学	2,000	③補委 文部科学省
上気道ウイルス感染機序解明のための扁桃を用いた新しいアプローチ法	森山 元大	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	2,200	③補委 文部科学省
エトP別にみたGAD抗体の自己免疫性1型糖尿病の発症・進展に対する関与の研究	田中 昌一郎	内科学3	900	③補委 日本学術振興会
牛乳のDMBA乳腺腫瘍の発生に及ぼす影響ー妊娠牛と非妊娠牛から搾った牛乳の比較	星 和彦	産婦人科学	1,100	③補委 日本学術振興会
血栓止血におけるフィブリンの役割の解明	井上 修	臨床検査医学	1,340	③補委 日本学術振興会
網膜神経節細胞障害:局所・中枢における高次細胞障害機構とその保護・再生治療の研究	柏木 賢治	眼科学	1,400	③補委 文部科学省
早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立のための臨床試験	大西 洋	放射線医学	400	③補委 文部科学省
小児アレルギー性鼻炎の成人への移行を阻止するための治療法の確立に関する研究	増山 敬祐	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	2,000	③補委 厚生労働省